

ISO 規格発行の概要

ISO 582:2026 Rolling bearings — Chamfer dimensions — Geometrical product specifications (GPS) and values

（転がり軸受一面取り寸法—製品の幾何特性仕様（GPS）及び値）

2026 年 2 月付にて、ISO 582:2026 (Rolling bearings—Chamfer dimensions—Geometrical product specifications (GPS) and values) が発行されましたので、その概要を紹介します。

1. 経緯

ISO 582 は、面取りの最大値（今回の改正で“最小実体の境界”に変更）を規定した ISO 規格です。

1972 年に初版が発行され、1979 年に第 2 版、1995 年に第 3 版、2013 年に追補 1 が発行されています。

GPS を適用した面取りの基本規格である ISO 21204 [仮称：製品の幾何特性仕様（GPS）—形体間の遷移領域の仕様] が 2020 年に発行されました。これを受け、転がり軸受の用語、主要寸法及び製品の幾何特性仕様を取り扱う ISO/TC 4/SC 4 において、ISO 582 に GPS を適用する改正を行うことを 2022 年 10 月に決議しました。その後、SC 4 内の作業グループである WG 7 で改正案の審議を行い、今回の発行に至りました。

2. 主な改正内容

(1) 面取りの規定方法

面取りを規定するための用語として、最小実体の境界（従来の面取り寸法最大値）と最大実体の境界（従来の面取り寸法最小値）とを使用します。面取り部の輪郭は、最大実体の境界と最小実体の境界との間でなければならない、という規定となります（図 1 参照）。

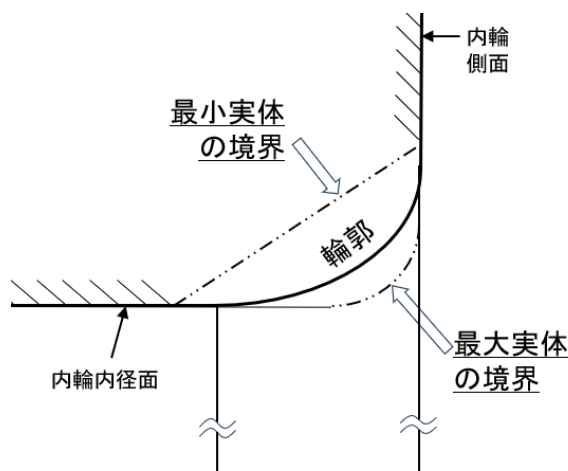


図 1 面取りの規定方法（内輪内径部の面取りの例）

(2) 面取りの量記号の改正

面取りに関わる量記号が改正されました（表 1 参照）。

表 1 量記号の変更内容

改正前		改正後	
$r_{s\ min}$ 又は $r_{ls\ min}$	実測面取り寸法の最小値	r 又は r_l	最大実体の境界
$r_{s\ max}$ 又は $r_{ls\ max}$ (アキシアル方向)	アキシアル方向の実測面取り寸法の最大値	C_a 又は C_{1a}	アキシアル方向の最小実体の境界
$r_{s\ max}$ 又は $r_{ls\ max}$ (ラジアル方向)	ラジアル方向の実測面取り寸法の最大値	C_r 又は C_{1r}	ラジアル方向の最小実体の境界

(3) 図示記号

面取りの図示記号が改正されました（図 2 参照）。

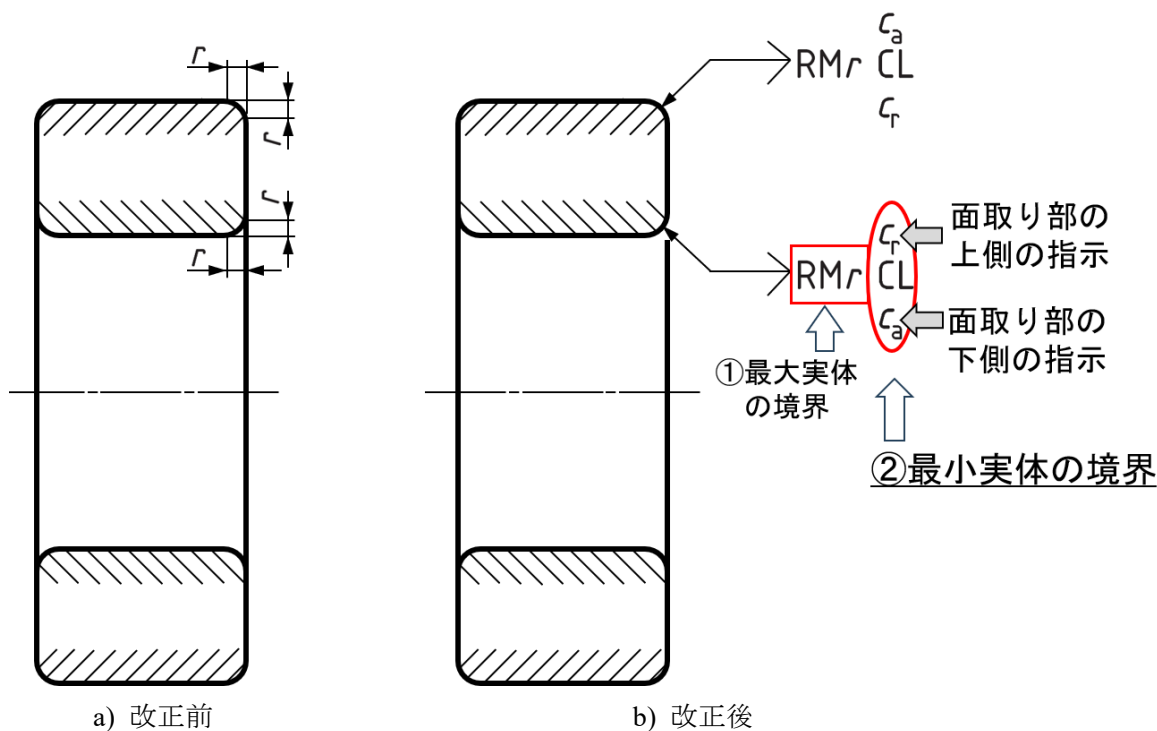


図 2 図示記号の変更内容

最小実体の境界は、次の規則に従って、 C_a （又は C_{1a} ）及び C_r （又は C_{1r} ）を図示記号 CL の上又は下に記載することにより指示します。

面取り部の上側：CL の上に記載

面取り部下側：CL の下に記載

(4) 規格値の変更

改正前の規格値の変更はありません。

ただし、円すいころ軸受の r 又は r_l が 3.5 の場合の規格値が新たに規定されました。

以上